

み吉野川

四国三郎、吉野川。河口から14.5kmにわたる汽水域とそこに広がる河口干潟は、わが国最大規模を誇っています。吉野川河口の多様な価値についても一度確認し、私たちの暮らしと上手な付き合い方を見つめなおしましょう。

吉野川河口について多様な視点から考え、未来に引き継ぐ方法を見つけるために、定期的にオンライン講座をひらきます。ひとりでも多くの方ので参加をお待ちしています。(事前申し込みは必要ありません)

吉野川河口みらい講座

第2回 オンライン講座〈参加無料〉

3月12日(土) 19:00~21:00

主催：とくしま自然観察の会

共催：ラムサール・ネットワーク日本

後援：吉野川・東京の会

問合せ：kansatsunokai@gmail.com tel&fax 088-623-6783

〈Zoom ミーティングに参加する〉

<https://urlzs.com/ZqjxZ>

▶ミーティング ID : 862 4586 1228

▶パスコード : 911046



ミツヒンギ



ホウロクシギ

「渡り鳥にとって 吉野川河口域はどんなところ？」

お話し：和田 太一 (NPO法人南港ウェットランドグループ)

吉野川河口は渡り鳥たちの中継地・越冬地として国際的にも重要な生息地になっていますが、近年河口部で行われている2本の大きな橋の建設などによる影響も心配されています。今回はシギ・チドリ類を中心とした渡り鳥たちにとって、吉野川河口がどのような場所で、どのように利用しているのかについてお話しします。

和田 太一(わだ たいち)

NPO法人南港ウェットランドグループ理事。中学生の頃から野鳥観察を始め、淀川や南港野鳥園で干潟のシギ・チドリ類の観察に没頭する。それらの餌となる底生生物にも興味を持ち、全国140ヶ所以上の干潟の調査を行ってきた。吉野川には2000年に訪れて以来、定期的に河口域の生物調査を行なっている。

YouTube公開中!
<https://youtu.be/3Lr36qY1k8Y>

第1回オンライン講座
1月22日(土)

「底生生物からみた
吉野川河口域の重要性」
お話し：和田太一



ハマシギの飛翔

とくしま自然観察の会 <https://shiomane.net>

●このイベントは日垂ふるさと振興財団の活動助成によって実施します。